

- 問1 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策の目的と、その結果として進められた社会的な区分について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。 | 2. 検地帳に農民の名前を登録することで、土地の所有権と耕作の権利を保障し、税率を一定にした。 | 3. 自給自足の生活を推奨し、農村に商人が入り込むのを制限することで、幕藩体制の基礎を築いた。 | 4. 鉄砲の製造を特定の職人に制限し、幕府が軍事力を独占することで、戦国時代の終焉を宣言した。 |
|---|---|---|---|
- 問2 ドイツで宗教改革を開始し、ローマ教皇の方針を批判して新たな信仰の形を提示した人物として正しいものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-------------|--------------|
| 1. マゼラン | 2. ムハンマド | 3. イエス・キリスト | 4. マルティン・ルター |
|---------|----------|-------------|--------------|
- 問3 15世紀末、ポルトガルの支援を受けてアフリカ大陸南端の喜望峰を回り、1498年にインド西海岸のカリカットへ到達して、東洋への海上航路を確立した人物は誰ですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|------------------|------------------|-------------|
| 1. アメリゴ・ヴェスプッチ | 2. クリストファー・コロンブス | 3. フェルディナンド・マゼラン | 4. バスコ・ダ・ガマ |
|----------------|------------------|------------------|-------------|
- 問4 豊臣秀吉が行った朝鮮出兵に際して、多くの朝鮮の技術者が日本へ渡り、薩摩焼や有田焼などの優れた陶磁器の技術が日本に伝わりました。これらの陶磁器も用いられた、当時の「茶の湯」の文化について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 千利休が「わび茶」の作法を確立し、茶室という限られた空間での精神的な美意識を広めた。 | 2. 世阿弥が能を大成させ、武士だけでなく民衆の間でも茶の湯と共に流行した。 | 3. 足利義政が東山山荘を造営し、書院造の建物の中で貴族的な豪華な茶会を主催した。 | 4. 雪舟が水墨画の技法を確立し、茶室の床の間に飾るための風景画を多く描いた。 |
|---|--|---|---|
- 問5 織田信長などの戦国大名が、キリスト教の布教を許可し、南蛮文化を積極的に受け入れた背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 簡素で気品のある桃山文化を否定し、すべての生活様式をヨーロッパ風に統一することで民衆を支配するため。 | 2. 南蛮貿易を通じて鉄砲や火薬などの軍事物資を調達し、天文学や医学などの新しい知識を取り入れるため。 | 3. ヨーロッパ諸国と軍事同盟を結び、中国（明）を征服するための直接的な援軍を求めたため。 | 4. キリスト教の教えが日本の伝統的な仏教勢力と密接に連携していたため、寺社の力を利用しようとした。 |
|---|---|---|--|
- 問6 「全国統一と税」という見出しが掲げられた展示パネルにおいて、織田信長が安土などで実施した商工業の自由な発展を図るための政策が紹介されています。この「楽市・楽座」と呼ばれる政策が実施されたのは何世紀のことですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 15世紀 | 2. 17世紀 | 3. 14世紀 | 4. 16世紀 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 16世紀後半、九州地方などの戦国大名が、キリスト教の布教を許可してまでポルトガルやスペインとの貿易を盛んに行おうとした背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 輸入品である生糸や綿織物の国内生産を制限し、日本の伝統産業を守るため。 | 2. 鉄砲や火薬などの最新兵器を入手することで、戦乱の時代において軍事的な優位に立つため。 | 3. 幕府が発行する勘合（符）を用いることで、明との公的な貿易ルートを独占するため。 | 4. キリスト教の教えに基づき、身分制度のない平等な社会を日本全土に築くため。 |
|--|---|--|---|
- 問8 豊臣秀吉が全国を統治していた時期に、千利休によって完成された「わび茶」の文化的な特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 南蛮貿易によってもたらされたヨーロッパの生活様式を取り入れた、国際色豊かな文化。 | 2. 金箔を多用した豪華な建築や障壁画に象徴される、権力誇示のための華やかな文化。 | 3. 禅宗の影響を受け、質素で静かなものの中に精神的な豊かさを見出す美意識に基づいた文化。 | 4. 貴族の伝統的な様式を重んじ、和歌や蹴鞠などの形式的な作法を追求した文化。 |
|---|---|---|---|
- 問9 安土桃山時代における文化のあり方について、千利休が重んじた「わび茶」の精神やその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---------------------------------|---|
| 1. 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出すとする精神 | 2. 形にとらわれず、風景や庶民の日常生活をありのままに描こうとする精神 | 3. 幽玄な美を追求し、面や独特の所作を用いて物語を演じる精神 | 4. 金銀をふんだんに使い、城郭の障壁画に見られるような豪華絢爛さを極める精神 |
|---|--------------------------------------|---------------------------------|---|
- 問10 豊臣秀吉が全国各地で行った、百姓から刀や脇差、鉄砲などの武器を取り上げた「刀狩」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 一揆を未然に防ぎ、百姓を農作業に専念させるため | 2. 田畑の売買を禁止し、年貢の収入を安定させるため | 3. 大名の勢力を抑えるために、城の無断修理を制限するため | 4. 海外への渡航を制限し、キリスト教の布教を抑えるため |
|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|
- 問11 15世紀から16世紀にかけて、ポルトガルやスペインが新航路の開拓を積極的に進めた理由の一つに、宗教的な動機がありました。当時のヨーロッパの情勢を踏まえ、この航海における宗教上の目的として正しいものを説明した文を選んでください。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. カトリックの勢力を維持・拡大するため、キリスト教を世界に広めること | 2. イスラム教徒と協力して、エルサレムを共同で統治する体制を築くこと | 3. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの教えを、アジアの各地に広めること | 4. 東南アジアで勢力を強めていた仏教をヨーロッパに紹介し、融合させること |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問12 安土桃山時代に栄えた桃山文化は、大名や豪商の勢力を背景とした豪華で壮大な特色を持ちます。この時代の代表的な建築様式で、城郭の中に居住空間としての機能を取り入れ、和紙を用いた襖（ふすま）や障子（しょうじ）に壮麗な障壁画が描かれた様式を何と呼びますか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 権現造 | 2. 書院造 | 3. 寝殿造 | 4. 校倉造 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 1587年にバテレン追放令が出された背景や理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 江戸幕府がオランダとの貿易を優先するため、平戸にあったオランダ商館を長崎の出島に移転させる準備を進めたため。 | 2. 足利義満が明との間で始めた勘合貿易を復活させるために、倭寇を厳しく取り締まり、キリスト教を排除する必要があったため。 | 3. 九州を平定した際、宣教師が長崎などの土地を支配し、キリスト教徒が神社仏閣を破壊している状況を秀吉が危惧したため。 | 4. 島原・天草一揆を鎮圧した後に、全国のキリスト教徒を徹底的に把握するため、宗門改を制度化しようとしたため。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。	豊臣秀吉は、農民から武器を取り上げる「刀狩」を行うことで、武力による抵抗（一揆）を物理的に不可能にしました。これにより農民を農業生産に集中させ、年貢を確実に徴収する体制を整えました。同時に、帯刀が許される武士と、耕作を担う農民という身分の違いが明確になり、後世に続く「兵農分離」の基盤が作られました。
問2	答え 4 マルティン・ルター	ドイツの神学者であるマルティン・ルターは、当時のローマ教皇が行った免罪符の販売に対して疑問を投げかけました。彼は聖書の内容こそが信仰の根拠であると主張し、カトリック教会から破門されながらも、新たなキリスト教のあり方（プロテスタント）を確立しました。ムハンマドはイスラム教の開祖であり、ルターの活動時期や地域とは異なります。
問3	答え 4 バスコ・ダ・ガマ	1498年にポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸南端の喜望峰を經由してインドに到達しました。これにより、イスラム勢力や地中海の商人を通さず、ヨーロッパがインドと直接交易を行う道が開かれました。コロンブスはスペインの支援で西へ向かいカリブ海へ、マゼランの船団は世界周航を成し遂げたことで知られています。
問4	答え 1 千利休が「わび茶」の作法を確立し、茶室という限られた空間での精神的な美意識を広めた。	豊臣秀吉の朝鮮出兵は、日本の陶磁器文化に大きな発展をもたらし、それらは千利休が広めた茶の湯の道具としても活用されました。千利休は、きらびやかさよりも内面的な深さを尊ぶ「わび茶」を確立し、安土桃山時代の文化に大きな足跡を残しました。
問5	答え 2 南蛮貿易を通じて鉄砲や火薬などの軍事物資を調達し、天文学や医学などの新しい知識を取り入れるため。	戦国大名にとって、キリスト教の保護は南蛮貿易による利益を得るための重要な手段でした。貿易を通じて、戦いに不可欠な鉄砲や火薬を安定して入手できるだけでなく、医学や航海術といった高度な西洋知識を取り入れることが、勢力の拡大や領国経営において大きな利点となったためです。
問6	答え 4 16世紀	織田信長が活躍したのは、戦国時代の後半にあたる1500年代後半です。彼は安土城の城下町などで「楽市・楽座」を実施し、それまで特定の商人や職人の組合である「座」が持っていた独占的な販売権などの特権を廃止しました。これにより、誰もが自由に商売ができる環境を整えて城下町の繁栄を図りました。同時期には豊臣秀吉による太閤検地なども行われており、全国統一に向けた新たな税や経済の仕組みが作られた時代です。
問7	答え 2 鉄砲や火薬などの最新兵器を入手することで、戦乱の時代において軍事的な優位に立つため。	戦国時代の諸大名にとって、強力な新兵器である鉄砲や、その原料となる火薬の入手は、領土を拡大・維持するための死活問題でした。ポルトガルやスペインの商人は、キリスト教の布教と貿易をセットで行っていたため、大名たちは貿易の利益や武器の確保を優先し、布教を保護したり、自らがキリスト教徒（キリシタン大名）になったりすることもありました。
問8	答え 3 禅宗の影響を受け、質素で静かなものの中に精神的な豊かさを見出す美意識に基づいた文化。	千利休が完成させた「わび茶」は、安土桃山文化のもう一つの側面である「豪華・壮大」ととは対照的に、内面的な精神性を重視するものでした。これは仏教の禅の教えにも通じており、狭い茶室という空間で主人と客が心を通わせることを理想としていました。当時の武士階級にとって、茶の湯は単なる趣味を超え、教養や精神修養として欠かせないものとなっていました。
問9	答え 1 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出そうとする精神	桃山文化は、壮大な城郭や豪華な金碧障壁画などに代表される一方で、千利休によって確立された「わび茶」は、余計な飾りを削ぎ落とした質素な美しさを追求しました。これは茶の湯の作法を単なる娯楽ではなく、精神的な修行の域まで高めたものです。金銀の装飾は桃山文化の別の側面（権威の象徴）であり、風景や日常の描写は江戸時代の浮世絵、幽玄の美は室町時代の能楽の特徴を指します。
問10	答え 1 一揆を未然に防ぎ、百姓を農作業に専念させるため	豊臣秀吉は、百姓による一揆（武装蜂起）を防止し、耕作に集中させて年貢を確実に納めさせることを狙いました。この政策によって武士と百姓の身分的な区別が明確になる「兵農分離」が進むこととなりました。没収した武器は大仏建立の材料に使うという名目も掲げられました。
問11	答え 1 カトリックの勢力を維持・拡大するため、キリスト教を世界に広めること	大航海時代の初期、ポルトガルやスペインは熱心なカトリック国として、領土の拡大や香辛料貿易の独占だけでなく、キリスト教の布教を国家の重要な使命として掲げていました。特にヨーロッパ国内で宗教改革が起こり、カトリックの権威が揺らいでいた時期であったため、海外に新たな信者を獲得することで教勢を立て直そうとする強い動機がありました。この流れの中で、イエズス会などの修道会がアジアやアメリカ大陸への布教活動を活性化させました。
問12	答え 2 書院造	桃山文化の建築では、軍事拠点である城郭の中に、武士の対面や生活の場として「書院造」が取り入れられました。室町時代に萌芽が見られたこの様式は、この時期に完成され、権威を象徴するために金箔を多用した障壁画などが施されました。平安時代の貴族の住居である寝殿造などとは、その構造や装飾性が大きく異なります。
問13	答え 3 九州を平定した際、宣教師が長崎などの土地を支配し、キリスト教徒が神社仏閣を破壊している状況を秀吉が危惧したため。	秀吉は全国統一を進める中で、キリスト教が仏教など既存の権威を否定することや、宣教師を通じて土地が海外勢力に渡ることを警戒しました。選択肢にあるオランダ商館の移転や島原・天草一揆への対応は、いずれも後の江戸時代の出来事であり、勘合貿易は室町時代の事象です。